

第2回 六甲山系妙法寺川地域学習ゾーン検討委員会

議 事 要 旨

1. 開催日時：平成24年12月13日(木) 14:00～16:00
2. 開催場所：神戸市須磨区役所 4F 多目的会議室
3. 出席者：

【委員】

宮田 隆夫	神戸大学名誉教授	構造地質学
香西 直樹	六甲山自然案内人の会 代表	自然(六甲全体)
志水 英治	神戸市総合教育センター 授業づくり支援室主任指導員 (前妙法寺小学校長)	自然(郷土)
隈下 潤	神戸市立板宿小学校 教諭	郷土史
田中 敏夫	須磨FRS ネット 代表	地域活動
神野 忠広	六甲砂防事務所事務所長	砂防・防災

【事務局】

六甲砂防事務所	綾木副所長、森東課長、杉浦係長
株式会社エイト日本技術開発	田中、松本、松島、嶋田

4. 配付資料

- 議事次第
- 第2回検討委員会資料(資料①～④)
- 参考資料 冊子「みんなで語り、伝えよう! 妙法寺川物語(案)」、散策マップ(表面:案)、サブノート(案)

5. 議 事

1. 開 会	・六甲砂防事務所 神野事務所長あいさつ
2. 議事	
(1) 第1回検討委員会議事要旨について	・事務局による説明(資料①)
(2) 本委員会での検討内容・スケジュールについて	・事務局による説明(資料②)
(3) 冊子に関するこれまでの意見と反映概要について	・事務局による説明(資料③)
意見交換	①不思議編について
	②素晴らしさ編について
	③安全・安心編について
(4) 散策マップ・サブノートに関するこれまでの意見と反映概要について	・事務局による説明(資料④)
意見交換	散策マップ・サブノートについて
(5) その他、今後の予定について	
5. 閉 会	・六甲砂防事務所 神野事務所長あいさつ

<冊子の内容・情報に関する意見概要>

主 な 意 見 の 概 要
<p>■須磨の位置の表現や名称について</p> <ul style="list-style-type: none">・六甲山地の「西のはずれ」の表現は良くないため、六甲山地の南西部などに統一しては。・須磨アルプスという言葉は出てくるが位置が表示されていないので、どこかに位置がわかるようにしてほしい。(宮田委員長)・妙法寺川の他、本冊子対象の小河川の名前と位置をどこかに入れることが必要である。須磨周辺を拡大した位置図を添付してはどうか。(神野委員、宮田委員長)
<p>■断層の説明図などについて</p> <ul style="list-style-type: none">・地質概要図の平面図は上に、断面図は下に配置した方が分かりやすい。断面の方にA—B断面位置を入れてほしい。(田中委員)・須磨断層を観察できた場所は発見されていませんとあるが、実際に確認されているため、「須磨断層は段丘たい積物や崩壊層でおおわれているため、観察された場所は限られています」などの表現としては。(宮田委員長)
<p>■天井川について</p> <ul style="list-style-type: none">・天井川の土手にトンネルを通した際に出た土砂が、鷹取駅から新湊川までの盛土材として使われたとなっているが、天井川の河川改修の際に取り除いた土手の土が使われたものである。・天井川の説明で、川がまわりの2階建ての家の高さ以上もあったというように、高さ感覚がわかるような表現をしてほしい。(田中委員)・天井川の絵図で、道路と河川の一部を着色しているが違和感があるため、着色をやめては。(神野委員)
<p>■扇状地の図について</p> <ul style="list-style-type: none">・扇状地のでき方のイメージ図については、元の川筋が残っていて違和感があるため、もう少し自然な、わかりやすい図にしてほしい。(神野委員)
<p>■天井川及び天井川公園について</p> <ul style="list-style-type: none">・「天皇池のトンネルは、ドイツの技術を導入して～」とあるが、トンネルだけではなく、砂防ダム自体がドイツの技術であるといわれている。・「天井川には天皇池やビオトープなどがあり～」の文章は「天井川には天皇池や天井川公園のビオトープなどがあり～」として、天井川にあるものと天井川公園にあるものとを明確に区別してほしい。(田中委員)
<p>■須磨周辺の植物、生き物について</p> <ul style="list-style-type: none">・タデとイヌタデが紹介されているが、どちらもイヌタデのように思う。天井川に生えているもので多い植物はヒメツブソバである。ヒメツブソバを掲載すると良い。(香西委員)・ニイニイゼミは、全国的にも減少しており、ほとんど見られないため、ミンミンゼミやヒグラシを掲載してはどうか。(田中委員)・キアゲハの紹介写真があるが、黄色すぎるので別の写真に変えては。(田中委員)・ハッチョウトンボやミヤマアカネは、ほとんど見られないため、コシアキトンボやオオシオカラトンボ、シオカラトンボ、ギンヤンマを掲載する方が良い。(田中委員)・図鑑を作るときなどに分類してたくさん載せるが、多すぎるとほとんど見ない。普段まわりで、すぐそこに見られるものを10種類ほどに絞って載せると、子供たちが身近にいることを確認できてたいへん興味が高まるのでは。(隈下委員)

主 な 意 見 の 概 要

■貴重種などの説明や注意書きについて

- ・自然観察会など採らないでくださいと書いてあっても、欲しくなって持ち帰る人が必ずでてきて荒らされるのが現実である。この冊子を見るのは子供だけとは限らないので、どこまで載せるべきかが難しい。写真は載せても、生育している場所は特定しない方が良い。(香西委員)
- ・どれが貴重とか特定しないで、注意書きをすることにしたい。(宮田委員長)

■環境関連の活動団体について

- ・他の流域では、妙法寺地域ほど多くの活動団体を紹介していないが、活動を休止する団体も考えられるので、何年時点での情報であるかということを書くと良いのでは。(事務局)
- ・活動団体はあいうえお順にして並べることにはしたい。(宮田委員長)

■わかりやすい表現について

- ・「調べて見よう」は「調べてみよう」とひらがなの方が良い。(田中委員)
- ・この冊子では難しいかもしれないが、わかりやすい表現としては、以下のようなことに気をつければかなりわかりやすくなると思う。
 - ①ひとつの文に二つの意味・内容が含まれているものは文章を単純にする。
 - ②イメージ語(～のような)や例示を入れる。
 - ③「問いかけ」に対して「答え」など、文章の骨格を統一する。

<その他、意見概要>

主 な 意 見 の 概 要

■散策ルートについて

- ・地図に川の名前も入れてほしい。(神野委員)
- ・高倉台公園は、小学校の西側を上った方がわかりやすく歩きやすい。また、馬の背からは、東山まで行き、そこから降りるのが通常のルートである。(田中委員)
- ・3枚目の下のコースは、しあわせの村でから出発して、ゴールをもう少し南の方向に下って白川台バス停まで伸ばした方が良いのではないかと。(田中委員)
- ・散策ポイントの戦の濱は、地元の人には「いくさのはま」と呼んでいるが、須磨区の冊子では「たたかいのはま」となっている。どちらにするのかは悩ましいところである。(田中委員)
- ・鷹取駅の南側がスタートとなっているが、北口の方がトイレもあるし歩きやすい。(田中委員)
- ・弘法の井戸は、妙法寺駅から行く場合は、北側に折れて行かずまっすぐ行くと階段があつて、六甲縦走のルートになってしまう。駅の北側に行くルートとする方が良い。(田中委員)
- ・北向八幡から行くのであれば、北向八幡の正面、鳥居のところから路地に入って、まっすぐ行けば公園に出る。そのルートが最短である。(田中委員)
- ・3コース目の下の図で、しあわせの村の位置関係がわからない。小さな位置図を入れるとよくわかる。(宮田委員長)

■サブノートについて

- ・六甲山地の木を子供たちに学習させるには、子供たちが良く目にする木を中心に載せた方が良い。最近植えられている樹木の方が良いのでは。(香西委員)
- ・風化した花こう岩、風化していない花こう岩の説明写真は、その部分を拡大して載せれば分かりやすいのでは。(宮田委員長)